神人　幺工
かみんちゅ　ベツニ

はるか……はるかかなた……

神々の住む　地……

私はこの地の
王の妃……
私は美しき男に心うばわれた

男の激しい愛は、私を
最高の喜びへと導いた……
男は妃をたぶらかしたとして
罪を科せられ……

この地を追われた
人間の地へと……。

男は人間の地で神の力を失い
さまよった……

今一度、妃にふれる事
できるならば
かまわない……

やがて
心のすきまから悪しき者の
このたましい
進入をゆるした……そして男はちかった
うばわれようとも……。